

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	産業振興課長 五十嵐 豊	
		主管課(関係課)【2】	産業振興課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
活1-1	産業の振興	まちの産業が活力を発揮し活躍するために	活力と魅力あるまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	日本の産業において農業の占める比率は年々減少する傾向にあり、商店街機能の低下も共通してみられる現象です。今後、農業においては、持続可能な農業経営の環境を整えるとともに、めぐみちゃんメニュー事業の推進や農地の多面的な機能の活用の検討、農家と市民との交流促進など地域に密着した農業の振興に取り組むことが必要です。商工業については、個々の商工業者の経営の維持・発展につながるよう経営診断や相談機能の充実を図るほか、イベントなどの開催や、空き店舗の活用などを通して商店街の振興のために、市民、事業者、商工会などとの連携をより一層進めていく必要があります。また、市内の中小企業に対しては、引き続き支援を行うとともに、市民、事業者、行政の連携により地域雇用を促進することも必要です。		◆農を通じた農業者と市民の相互理解 ◆市内産農産物の付加価値の向上 ◆農商工が連携した地域経済の展開 ◆関係機関との連携による商工業の振興	市内の農業・商工業を振興し、地域経済の発展をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇平成27年4月に「都市農業振興基本法」が施行され、都市農業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する重要性が増しています。 ◇消費税率の引き上げ、為替変動、人手不足等により、中小企業や商店は経営上の課題を多く抱えており、地域経済の活性化に向けては、効果的な振興策が必要とされています。				
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
1	農業経営を促進し、都市農業の魅力向上に努めます	市内産農産物の普及啓発と消費促進		
2	農にふれる機会を提供し、農地の保全に取り組めます	農を通じた農業者と市民の相互理解の促進		
3	多様な商工業の振興を進めます	産学公金連携による商工業の振興		
4	地域労働環境の向上に努めます	関係機関との連携による就労支援		

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「産業の振興」の取組に対する市民満足度	目標値	16%				単位	%	
		算出式・説明	市内の産業を活性化するために、市が行っている「産業の振興」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	13.4	13.4	13.4	15.3			
		達成率		84%	84%	84%	96%				
	指標2	名称	市内における農業産出額(農家1戸あたり平均)	目標値	4,033千円				単位	千円	
		算出式・説明	農業経営の促進や都市農業の魅力向上の取組の効果をj知るうえで、農業産出額の把握は重要です。市内における農家1戸当たりの平均農業産出額を増やすことを目標とします。	実績値	3841	3841	3841				
		達成率		95%	95%	95%	0%				
	指標3	名称	市内の企業等との連携による取組数	目標値	2件				単位	件	
		算出式・説明	多様な商工業の振興を図る上で企業等との連携による取組は重要です。このため、市内の企業等との連携による年間の取組数(連携した事業数)を目標とします。	実績値	2	1	1				
		達成率		100%	50%	50%	0%				
	指標4	名称		目標値					単位		
		算出式・説明		実績値							
		達成率									
達成率の平均値					93%	76%	76%	32%			

【市民意見】【13】

24年度		27年度	
満足度(%)	13.4%	満足度(%)	15.3%
満足度(平均ポイント)	-0.21	満足度(平均ポイント)	-0.13
重要度(%)	66.3%	重要度(%)	65.5%
重要度(平均ポイント)	0.9	重要度(平均ポイント)	0.89

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成	□ ほぼ達成	□ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	□ 平均を下回る	■ ほぼ平均	□ 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇農業振興については、都市と農業が共生するまちづくり事業などにより、市民の農業・農地への理解を進める取組を行ってきましたが、都市農業の重要性が高まる中、市民、地域及び行政が一体となって市内農業を支えることが重要となっています。 ◇商工業振興については、地域の資源・技術を活かし、業種や主体を超えた分野横断的な連携を進めてきました。今後は、さらなる地域経済の活性化を図るために、新たな創業・起業を増やす取組が必要です。 ◇労働関係については、関係機関と連携し、各種セミナーを実施するなど、就労の機会提供に係る取組を進めてきましたが、求職者の態様が多様化する中で、対象者別の支援策の充実等が必要となっています。				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている	□ 以前と同程度	■ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	■ 平均を下回る	□ ほぼ平均	□ 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇農業経営の促進及び農地保全については、第2次西東京市農業振興計画に基づき、引き続き都市と農業が共生するまちづくり事業により、農業・農地への理解を深める取組を進めるとともに、「めぐみちゃんメニュー事業」による地産地消の推進、援農ボランティアの育成・活用による担い手の確保、認定農業者への支援の拡充等により、持続可能な農業経営に向けた環境整備を進めていきます。 ◇多様な商工業の振興については、産業振興マスタープラン中期計画に基づき、一店逸品事業による商店の魅力づくり、商店街支援によるまちのにぎわいづくり、産業振興戦略会議による効果的な事業の実施などを継続することと併せ、産学公金連携事業の推進、新分野の融資あっせん制度の検討などにより、当市における効果的な事業者支援を進めていきます。 ◇地域労働環境の向上については、引き続きハローワークや東京しごとセンターとの連携を進め、雇用状況を的確に捉えながら、各種就労支援事業の充実を図っていきます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充	■ 現状維持	□ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化	■ 現状維持	□ 効率化		
	施策実施方針【22】	V	成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域			

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充	■ 現状維持	□ 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】	■ 重点化	□ 現状維持	□ 効率化	
	判断理由等【24】	産業の振興については、平成26年3月に策定した「産業振興マスタープラン(中期計画)」に基づき、農業や商工業の振興に向けて、都市と農業が共生するまちづくり事業や、めぐみちゃんメニューによる地産地消の推進、認定農業者への支援、一店逸品事業による商店の魅力づくりなどに取組んできました。市民意識調査結果では、重要度・満足度ともに低いものの、前回調査と比べ満足度の上昇が見られており、これまでの施策展開の成果が見えてきています。平成26年12月に国が示した地方創生のための「まち・ひと・しごと創生法」に基づく総合戦略では、まちの活性化・魅力づくりが視点の1つとして挙げられており、引き続き地域の実情に沿った産業の振興のため、今後の取組の中でさらなるコスト需要が生じた場合には、コストの重点化に努めると判断しました。			
施策実施方針【22】	IV	成果を維持するため、コストの重点化を行う施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

活1-1 産業の振興

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	援農ボランティアの活用	産業振興課	農のアカデミー体験実習農園でのボランティアを求める農業者と援農ボランティアのマッチング、指導農家の指導の下での援農ボランティアのスキルアップなどを継続して行っています。
2	都市と農業が共生するまちづくり事業の実施	産業振興課	平成23～平成25年度に東京都の「農業・農地活かしたまちづくり事業補助金」等により整備した施設及びソフト事業を活用し、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図る事業を展開します。
	地産地消の推進	産業振興課	「めぐみちゃんメニュー事業」を通じて地産地消を推進するとともに、農工商連携を図り、販路の拡大を目指しています。
3	商店街活性化推進事業の充実	産業振興課	商店街活性化推進事業を通じ、商店街が実施する地域連携型イベント、企画提案型イベント及び活性化事業を支援し、商店街の自発性を促進しています。また、商店街の所有する街路灯のLED化に対する支援等について検討していきます。
	一店逸品事業の推進	産業振興課	一店逸品事業の更新を通じて、本市における地域ブランドを内外にアピールし、新たな地域資源とするとともに、地域経済及び市内産業の活性化を図っています。
	中小企業資金融資あっせん事業の実施	産業振興課	市内中小企業者に対し、事業経営に必要な資金について、金融機関に融資をあっせんし、当該融資について利子補給等の助成措置を行うことにより、中小企業者の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経営の安定を図り、もって中小企業者の振興に寄与することを目的としています。また、中小企業等資金融資検討委員会を通じ、現行制度の検証を行うほか、新分野の融資制度の検討を行なっています。
4	ハローワーク等と連携した就労情報の提供	産業振興課	ハローワーク及び東京しごとセンターとの連携により、各種セミナーや面接会などを開催し、就労を支援しています。また、ポケット労働法の作成・配布などにより、労働法に関する知識の普及啓発に努めています。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業の評価 (直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
36,093	27,859	8,234		認定農業者を始めたとした、農業者のニーズを的確に把握し、営農の継続・拡大・効率化に対する支援を行っています。	B	
8,735	501	8,234	抜本的見直し (平成23年度)	中	農業者と援農ボランティアのマッチングの機会を提供するとともに、援農ボランティアのスキルアップを行っています。	B
14,803	5,166	9,637			各事業における庁内関係部署、JA及び農業生産団体等の連携の拡充を進めています。	B
14,803	6,569	8,234			商工業者と農業者のマッチングを行い、地産地消及び地域経済の活性化を進めています。また、事業PRを行うことにより、「ブランド化」を促進しています。	A
43,755	35,521	8,234			商店街の活性化に向けた補助制度を実施し、地域の特色を活かした「市の顔となる商店街づくり」を支援しています。	B
13,589	5,355	8,234	改善・見直し (平成26年度)	上	モノやサービスなど個店独自の「逸品」を確立し、入りたくなる店づくりへとつなげています。	A
58,920	50,686	8,234	改善・見直し (平成23年度)	—	事業者の事業継続に向けて、効果的な支援を進めています。	B
8,518	284	8,234			求職者のニーズに合った就労情報・機会を提供しています。	B
199,216	131,941	67,275				